

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会 ラグビーワールドカップ 2019 に向け調布市は取組方針を定めました

(平成28年7月)

世界最大級のスポーツイベントが、2年連続で調布市において開催されることは、とりわけ次代を担う子どもたちにとって、スポーツの役割の重要性や平和の尊さを実感するとともに、明るい希望と夢を抱いて世界に目を開く絶好の機会となります。

BASIC APPROACH

基本的な考え方

東京 2020 大会、ラグビーワールドカップ2019を契機として、東京 2020 組織委員会の「アクション&レガシープラン 2016(平成28年7月)」において掲げた「5本の柱」の考え方を踏まえた5つのテーマをもとに、スポーツ振興をはじめ、産業・観光振興、文化振興、国際交流、平和施策、青少年の健全育成、教育・福祉の充実など、調布市基本計画や調布市総合戦略と連動した様々な角度からの取組を、東京都や東京 2020 組織委員会、近隣市、関係団体など多様な主体と連携・協働し、市のまちづくりへの効果とレガシーを創出し、多摩地域全体の振興につなげていく。

取組の視点①

東京 2020 大会
ラグビーワールドカップ 2019の
円滑な開催に向けた支援

開催地の地元市として開催支援に取り組み、にぎわい創出や市民の安全・安心の確保、来街者のおもてなしなどの環境整備を推進

取組の視点②

大会の機運醸成と
スポーツ・文化・福祉健康・教育の振興

機運醸成を図るとともに、市民のスポーツへの関心を高め、芸術・文化振興、福祉健康の充実、子どもたちに明るい希望と夢を与える機会を広げる

取組の視点③

大会後のレガシーを創出し、調布のまちの
発展と多摩地域全体の振興につなげる

多様な主体と連携・協働し、かけがえのない感動と記憶を残すとともに、調布市における有形・無形のレガシーを創出し、多摩地域全体の振興につなげる

3つの視点を踏まえた5つのテーマによる取組



2020年までのロードマップ

年度	2016	2017	2018	2019	2020
全体の動き (2016年現在の予定)	<p>リオ大会</p> <p>ラグビー日本代表戦(対 スコットランド)</p> <p>●大会エンブレム発表</p> <p>ライブサイト</p>	<p>平昌大会</p> <p>●大会マスコット発表</p> <p>フラッグツアーの実施</p>	<p>ラグビーW杯</p> <p>●テストイベント</p> <p>●聖火リレールート発表</p>	<p>東京 2020 大会</p> <p>●聖火リレー</p>	
調布市の取組	<p>2020年に向けた取組方針を策定</p> <p>機運醸成の取組 ・パネル展示、イベント開催 ・カウンタダウンボード設置 ・リオ大会パブリックビューイング</p> <p>ラグビーフェスティバル</p> <p>ライブサイトへの協力</p>	<p>(仮称)2020年に向けた調布市のアクション&レガシープランの策定</p> <p>●機運醸成資機材の作成・活用、ボランティアの活用検討</p> <p>●近隣市との意見交換・情報共有、市内各団体等との意見交換・情報共有・連携</p> <p>フラッグツアーの実施</p> <p>●組織委員会、東京都等との連携</p>	<p>アクション&レガシープランの改定</p>	<p>アクション&レガシープランの改定</p>	<p>アクション&レガシープランの改定</p>
その他 (まちづくりの動き)	<p>●武蔵野の森総合スポーツ施設(仮称)竣工</p>	<p>●調布駅前複合商業施設竣工</p>	<p>●電気通信大学100周年キャンパス整備・運営</p>	<p>●調布映画祭 ●児童青少年フェスティバル ●調布花火 ●調布よさこい ●調布市民スポーツまつり ●調布市民文化祭 ●調布市民駅伝競走大会 ●調布市福祉まつり etc...</p>	

Q. オリンピック・パラリンピックっていつ始まったの？

A. 第1回オリンピックは1896年のアテネ大会、第1回パラリンピックは1960年のローマ大会です。1964年の東京大会は、アジアで初のオリンピック開催となり、「パラリンピック」という愛称が初めて名付けられた特徴的な大会となりました。そして、2020年は東京で56年ぶり！2度目の開催はアジアで初となります！

Q. 2020年に向けて調布市はどう変わる?!

A. 東京2020大会では、調布市で5つの競技開催が予定されています。2020年に向けて、競技会場となる武蔵野の森総合スポーツ施設(仮称)や、調布駅前に多摩地域最大級のシネマコンプレックスを含む複合商業施設が完成するなど、まちは大きく変わっていきます。この世界最大級の大会開催を契機にスポーツ振興をはじめ、産業・観光、文化、教育など、あらゆる分野で素敵なレガシー(遺産)を調布のまちに創っていきましょう！

Q. 2020年に向けて何かしたいなあ…

A. 東京2020大会時、大会運営に従事する大会ボランティアを組織委員会が、国内外からの観光客へ観光・交通案内をする都市ボランティアを東京都が、それぞれ2018年夏頃から募集開始予定です。調布市でも、各種イベント開催のほか、気軽に始められる地域活動の情報を発信していますので、ぜひ一緒に大会を盛り上げましょう！

東京ボランティアナビ
<http://www.city-volunteer.metro.tokyo.jp/jp/>

コラム Column

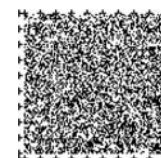
オリンピックが目指すもの

オリンピックがもつ根源的な考え方をオリンピズムといい、「スポーツを通じて、若い人々がフェアプレーの精神の下に体と精神を鍛錬し、文化や国の違いなど、様々な差異を超えてお互いに理解し合い、友好を深めて、世界平和に貢献していこう」とする理念です。五輪で有名なオリンピック・シンボルは、1914年近代オリンピックの父クーベルタンによって作られました。左から青、黄、黒、緑、赤で彩られた五つの輪は五大洲を表しており、世界中の人々がオリンピックを通して友情を育み、協力し合って結ばれることを表現しています。また、この輪の五色とオリンピック旗の背景の白の六色の組み合わせによって、世界中のほとんどの国旗が描けることから、これらの色には「世界は一つ」という意味が込められています。

パラリンピックの価値

パラリンピックは、障害のある人々が参加する世界最高峰の国際競技大会で、オリンピック終了後、同じ会場を使って開催されます。国際パラリンピック委員会は、パラリンピックの価値として、「勇気・決断力・平等・鼓舞」の4つを掲げています。パラリンピックスポーツを通じて、障害者も健常者もともに生きる社会を創出することが究極のゴールなのです。

調布市 行政経営部
オリンピック・パラリンピック担当
Tel.042-481-7368・9 (政策企画課)



2020 STEP FORWARD

2020年に向けた調布市の取組



東京 2020 オリンピック競技大会

開催期間 2020年(平成32年)
7月24日(金) ▶▶▶ 8月9日(日)



東京 2020 パラリンピック競技大会

開催期間 2020年(平成32年)
8月25日(日) ▶▶▶ 9月6日(日)